

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブレイクラブラビッツ陽光台教室		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動プログラム、就労準備プログラム、衛生プログラム、体験活動プログラム、おでかけ等を通して将来に生きる様々な体験や経験を提案提供することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定化されないように月一回以上の会議を設けている。</li> <li>・振り返りをして良かったものはさらに良いものに、良くなかったものは良いものになるように試行錯誤をして活動を作り上げている。</li> <li>・通所している児童の特性等に配慮しながらプログラムを編成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、一事業所ではできることは限られてしまうので、地域とのつながりを拡げる中で活動の幅をさらに拡げていきたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、保護者に寄り添った支援が出来ている。</li> <li>・同じ目線に立った支援が出来ている。</li> <li>・近すぎず、遠すぎず程よい距離感で支援を行うことが出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を進める際には利用児童の意思(声)をしっかりと聞くことを意識しています。一方的な支援にならないよう、利用児童の様子や特性を把握し、その児童一人ひとりの個性を尊重しながら支援を進めています。</li> <li>・保護者の悩みや声を、まずは“聞くこと”を意識し、ニーズを把握しながら支援を検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての利用者、保護者が“共感的な支援をしてくれている”と思っていただけるように、まずは話をしっかりと聞き、その声をより良い形でお返しできるように全職員努めてまいります。</li> </ul>
3	一事業所でイベント企画するのではなく、外部の法人や団体とのつながりを大切に、イベント等を開催している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との繋がりを大切に考え、事業所外の方にイベントの講師を依頼するなど、多種多様な人に事業活動のご協力をお願いしている。</li> <li>・新しいつながりを見つけるためにSNSのDMなどでコミュニケーションをとったり、地域のイベントに積極的に参加し、つながりを拡げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントにもっと参加し、つながりをさらに拡げ、活動の幅を拡げていきたい。</li> <li>・最も近い地域(陽光台、星が丘、上溝等)とのつながりをもう少し拡げていきたい。</li> <li>・初年度に開催した“地域に開かれたイベント”のようなことを再度開催して、地域にもっと事業所のことを、法人のことを知ってもらいたい。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全職員(パートアルバイト含む)に対する情報共有の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、情報共有は行っているが、非常勤のスタッフのミーティング、会議の参加や研修の機会などが充分とは言えない。情報共有するための環境、機会の整備、見直しが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が情報共有をわかりやすく、効率よくできるような体制づくりをし、よりよい支援を目指します。</li> </ul>
2	新1年生の前年度在籍(こども園や児童発達支援事業所等)との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる点がある児童に対しては前年度在籍(児童発達支援事業所等)に問い合わせをして、情報共有をさせて頂いているが、現在は全ての児童が対象ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童を対象に情報共有の機会を設けて、よりよい支援につなげていきたい。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ブレイクラブラビッツ陽光台教室				公表日	令和7年2月24日		
		利用児童数	32 (兄弟2組・配布数30)		回収数	21		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	7	0	0	児童の人数が増えると少し手狭かなと感じる。	内容に合わせた、安全に配慮したスペースを確保させて頂いております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	6	0	2	以前より職員数が少なくなったかなと感じる。	児童に合わせた職員数を確保し、それぞれの職員が専門性を高めてまいります。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	4	0	1		見てわかるような視覚的支援を意識した環境づくりをしてまいります。バリアフリー化を旨とした施設を旨とします。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2	0	1	キレイな方だと思う。	毎日の清掃や遊具等の除菌を行っています。また毎日亜塩素酸水噴霧器で空間除菌を実施しています。感染症蔓延時に限らず、今後も継続してまいります。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	4	0	1		保護者から頂いた情報や日頃の様子から特性等を見極め、それらを支援に生かすことを目標にしております。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1	0	0	毎月何をやるか案内があるのでわかりやすい。	見学体験時から活動プログラムの説明はさせて頂いております。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	1		面談等で情報共有したニーズ、課題等、また日頃の様子等を踏まえた計画作成を心がけております。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	1		今後、家族支援や移行支援等にも力を入れた計画を作成していきたいと考えております。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	1		計画に沿った支援を行っております。ただし、計画にない課題等が出てきた際にはそちらの課題等にも向き合います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	0	0	いつもいろいろな活動がありとうございます	毎月異なる運動プログラムや毎週異なる体験活動、学校休業日にはおでかけなどの機会を提供しております。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	6	1	3	あったかもしれないが、数は多くないと思う	今年度は子どもセンターへ出向き、そこにいた児童と一緒に活動する機会がありました。また地域の児童がイベントに参加する機会もありました。来年度は地域の子どもたちとの関わりを積極的に行う環境づくりをしたいと考えております。	
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0		支援プログラムは見学体験時に説明を行っております。重要事項や利用者負担等の説明は契約時に行っております。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0		計画作成の都度、保護者様に確認していただき、同意を得ております。説明は面談の時にさせていただきます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	6	0	2		ペアレントトレーニングと言える程のものは提供できていないのが現状です。スキルを身に付けて、提供できるように努めてまいります。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	18	3	0	0		送迎時を中心に情報共有を行っています。またHUG等で、積極的に情報共有をしてくださる保護者もおり、助かります。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2	1	0		お悩みに対する相談援助は行っているが、今後「相談してよかった」と思ってもらえるように努めてまいります。	

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2	1	0		児童、保護者の立場に立った共感的な支援が行えるように努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	4	2	1	開催されていたみたいだが、土曜日開催で参加することが出来なかった	今年度は初めて保護者会を実施しました。保護者参加可のイベントも開催しました。開催日時については、なるべく多くの方にご参加頂けるよう検討いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	3	0	2		相談や申入れについては、まずお話を聞かせて頂き、なるべく早い対応を心掛けております
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	4	0	1		意思疎通のための方法等を一緒に試行錯誤、模索させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	0	1		ラビッツ通信、SNSにて日頃の様子を公開しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1	0	0		個人情報等は鍵付き書庫にて管理し、個人情報がかんじらぬようにしています。パソコン等個人情報の持ち出しは禁止しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	1	引き渡し訓練はなかったが、伝言ダイヤルのテストは行った。実際に活用されると良い	契約時に説明をさせて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	3	避難訓練は行っている。水消火器の体験はいざとなったときの、ためになると思う	定期的避難訓練は実施しております。また職員向け応急手当の確認も行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	1		契約時に安全面に関する内容の載った緊急時等マニュアルを確認して頂いております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	1	些細なことでも連絡をくださる	契約時に安全面に関する内容の載った緊急時等マニュアルを確認して頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	2	0	0		児童、保護者にとって安心できる場所と思ってもらえるような環境づくりを目指してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	0		今まで以上にラビッツを楽しく、自分の居場所として認識してもらえよう環境づくりを目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	3	0	0	・大変お世話になっております。今度ともよろしくお願いたします。いつも楽しいイベント考えていただき感謝です。これからも期待してます!! ・学校が半日のときにお弁当持参でいく事ができなくなったのが、残念	ご利用児童の将来のために、様々な経験を通して有意義な時間を提供できるように努めてまいります。また保護者様の困り感等にも向き合い、助言等でお力になればと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブレイクラブラビッツ陽光台教室				公表日	令和7年2月24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		人数が多いときにはプログラム内容を若干変更したり、配置を工夫しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		職員の配置数は適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	荷物を置く場所等を見てわかるように、視覚的支援を行うようにしております。	トイレがバリアフリー化されていない。できる範囲でのバリアフリー化を進めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日の清掃や遊具等の除菌を行っている。また毎日亜塩素酸水噴霧器で空間除菌を実施しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		ひとりになれる場所をパーティション等で仕切って作っております。	遮音はできていないので、気になる児童は気になると思う。少しでも工夫をして改善していきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2	定期的な会議の中でPDCAを意識した話し合いをしている。	非常勤のスタッフの会議等への参加を促進するなど、広くスタッフが参画できる環境づくりを行いたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者の声を聞き、そのご意見をもとに改善しようと全職員で努めております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		常日頃、職員の様々な声を聞きながら業務を進めております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	第三者による外部評価は実施していません。今後も実施する予定はございません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		オンライン研修や松が丘園や陽光園のセミナーに参加しております。またスキルアップのために行動支援や相談支援専門員の資格を取得した職員もおります。	非常勤スタッフのスキルアップするための機会を作り、より広く事業所のスキルアップを図りたいと考えております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		支援プログラムは作成済みです。近々公開予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		半年以内に一回以上面談を行い、アセスメントをとっており、そのアセスメントをもとに計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		支援に参加している職員からの声を聞きながら、計画作成を行っております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		特性や最近の様子も含め計画に沿った支援を意識しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		アセスメントシートは初回に使用しております。2回目以降は面談時に直接お話の中でアセスメントをとっております。	年度初めまでにアセスメントシートを用いて、再度アセスメントを取り直してもいいのではないかと考えています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		「本人支援」等、それぞれのねらいを踏まえた計画を作成しております。	本人支援に限らず、家族支援や移行支援等にも力を入れた計画を作りたいと考えております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		月1回の総会議にて、それぞれの活動の立案を行っております。またこの会議以外にも定期的に打ち合わせを重ねプログラムを立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		月1回の総会議にて、それぞれの活動プログラムの検討を行い、過去を振り返りながら固定化されないよう工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		児童の様子や環境によって個別活動、集団活動を適宜組み合わせ支援を進めております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援開始前に打ち合わせを毎日行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援終了後、退勤前に振り返り、情報共有の時間を設けております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		日々の支援記録はHUGにて記録し、気になった点等は特記事項として記録しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		半年以内に一回以上モニタリングを行い、そのモニタリングをもとに面談を行い、計画に生かしております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動を意識して、バランスよく活動プログラムに取り入れております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		考えを押し付けない、児童の声を聞く、意思を尊重することを意識した支援を目指しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児童発達支援管理責任者は必要に応じてサービス担当者会議に参加しております。また相談支援事業所への相談報告を行っております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		障害福祉事業所や学校との情報共有は常に行っております。	医療との直接のつながりは現在ない。必要に応じて連携をとっていきたくと考えております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		学校との情報共有は送迎時を中心に行っております。（支援級）	支援級在籍ではない児童に関しては、情報共有する機会がありません。より良い支援のためにも、もっと情報共有を積極的に実施したいと考えております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	気になる点がある新1年生については、前年度在籍していた児童発達支援事業所との情報共有は実施しております	全ての児童で実施している訳ではないので、今後は新1年生全員を対象に情報共有の機会を設けていきたいと考えております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	現在、該当者がいません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		地域の児童発達支援センターに相談連絡報告を行うことがあります。その中で助言を受けることもあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	今年度はこどもセンターに出向き、そこにいた児童と一緒に活動する機会がありました。また地域の児童がイベントに参加する機会もありました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3	協議会がないとのこと参加はしていません。	協議会が中央区にはないので、設立にも貢献できたらと考えております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時を中心に情報共有を行っております。またHUG等でも情報共有をしてくださる保護者もいらっしゃいます。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	随時相談は受け付けております。	ペアレントトレーニングと言える程のものは提供できていないのが現状です。スキルを身に着け、提供できるように努めてまいります。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		支援プログラムは見学体験時に説明を行っております。重要事項や利用者負担等の説明は契約時に行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		サービス提供する際には、それぞれの児童にはそれぞれのペースがあることを第一に考え、当日の様子等を見ながら、その児童に合った支援を実施しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		計画作成の都度、保護者に確認いただき、同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1	定期的な面談は実施しております。	お悩みの相談等は随時受け付けております。「相談してよかった」と思ってもらえるように努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		今年度は初めて保護者会を実施しました。保護者参加可のイベントを開催しました。	参加者が少なかったため、もっとたくさんの方にご参加して頂けるような企画を進めたいと考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		お話をしっかり聞くことを意識し、なるべく早い対応（解決）を心がけております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		ラビッツ通信、SNSにて日頃の様子を公開しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報等は鍵付き書庫にて管理し、個人情報が机上に出しっぱなしとすることがないようにしております。パソコン等個人情報の持ち出しは禁止されております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		意思疎通のための方法等を一緒に試行錯誤、模索しております。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	地域に貢献する活動として地域清掃を毎年行っております。	地域住民を招待したイベント等が開催することが出来ないため、来年度は開催を前向きに検討していきたいと考えております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルの概要は、契約時に説明をさせて頂いております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		定期的に避難訓練は行っております。また職員向けの応急手当の確認も行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		契約時や面談時に確認をしております。変更があれば保護者から教えて頂けるようになっております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		保護者からアレルギー情報を頂いております。おやつもアレルギーに配慮したものを提供しております。	年一回その時のアレルギーの状態等を確認しても良いのではないかと考えております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を作成し、安心安全な環境で支援が行えるように心がけております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		契約時に安全面に関する内容の載った緊急時等マニュアルを確認して頂いております。	内容が大きく変わらなくても、年度ごとに配布する必要があると考えております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		月一回程度会議を開催しております。またヒヤリハットがあればその都度記録をとるようにしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		年2回ほど虐待防止に関する研修を実施しております。その研修で学んだことを常日頃意識しながら支援を行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		組織内で身体拘束（行動制止）が本当に必要なのか検討し、保護者への説明同意を行った上で、計画にも記載させていただいております。		